

平成 2 8 年 8 月 2 3 日
林 野 庁
近 畿 中 国 森 林 管 理 局
石 川 森 林 管 理 署

おおなんじ
**手取川上流大汝国有林における崩壊地対策の
実施状況について**

林野庁近畿中国森林管理局石川森林管理署が実施しております手取川上流大汝国有林における今年度の工事が終了しましたのでお知らせいたします。

手取川上流大汝国有林における崩壊地対策については、5月13日に工事契約を締結し、航空機を活用した工事に必要なヘリポートの設置作業や関係機関との協議を経て、6月16日に工事に着手し、袋型土留工の設置、航空緑化導入工、侵食防止工の施工に取り組んできました。

このような中、8月21日に今年度の工事が終了しましたのでお知らせいたします。（詳細は別紙の通り）



【問い合わせ先】

林野庁近畿中国森林管理局石川森林管理署
次 長 仲村 誠
〒920-1158
石川県金沢市朝霧台2-21
電 話：050-3160-6100
F A X：076-222-6215

林 野 庁

28年度対策の実施状況について

6 / 16に工事着手し、崩壊斜面の土砂移動を抑制し、緑化の確実性を向上させる「袋型土留工」(対策①)の設置を進め、7 / 18施工を完了。

引き続き、航空緑化導入工、侵食防止工(対策②、③)を実施し、8 / 21に今年度の工事が完了。

対策②

航空緑化導入工

- (1) ヤナギの枝散布(1, 100本)
- (2) 枝を裁断し水、肥料等との混合資材による吹付(1.0ha)

対策①

袋型土留工(300個)

対策③

侵食防止工(5.0ha)
(一部2度吹を実施)

(参考)28年度対策の施工状況について

■袋型土留工（対策①）

崩壊斜面上部の土砂移動を抑制し、緑化の確実性を向上させる「袋型土留工」を300個設置。



【約1.5m×1.5mの石入袋を作製】



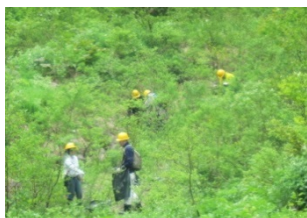
【ヘリによる施工状況】



【ヘリによる施工完了状況】

■航空緑化導入工（対策②）

技術検討会の指摘等を踏まえ、白山の生態系に配慮し崩壊地周辺に自生している植物を活用して崩壊斜面上部の緑化対策を実施。（（1）ヤナギの枝散布、（2）枝を裁断し水、肥料等との混合資材による吹付工）



事業で
活用



枝をそのまま散布



麻布で包んだものを散布



※ヤナギの枝を裁断したものを水、肥料、粘着剤、顔料等で混合した緑化資材を散布

【緑化用資材(ヤナギの枝)の現地採取状況
(石川県立大学・環境省と合同実施(6/1))】

【(1)ヤナギの枝の散布状況】

【(2)ヘリによる吹付状況(右写真は完了後)】

■侵食防止工（対策③）

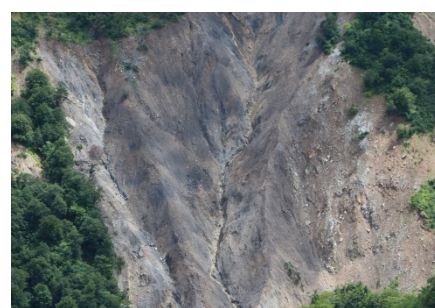
当面の土砂流出を抑制するため、崩壊斜面の下部に「侵食防止工」を5.0ha（一部2度吹）施工。



【侵食防止工用資材の作製状況】



【ヘリによる施工状況】



【ヘリによる吹付状況(完了後)】

※侵食防止材を水、顔料等で混合した資材